

令和5年度PTA活動振興功労者表彰被表彰者一覧
【高等学校・中等教育PTA】

(都道府県順)

No	都道府県	氏名	主要PTA経歴	主な功績
1	北海道	かいとう よしのり	北海道高等学校PTA連合会	長きにわたるPTA活動歴を持ち、北海道や全国の役員として優れた力量を発揮し高い成果を上げる一方で、PTA活動の出発点となった留萌の地域の明日を担う若者の健全な育成という視点を忘れることなく、高校の円滑な再編統合や、地域住民の教育への意識の向上に努めた。さらに、東日本大震災の被災地の子どもたちの健全育成にも尽力するなど、熱い情熱を持ちPTA組織の先頭に立って、会員とともに活動の充実に取り組んできた。
		海東 剛哲	前会長	
2	北海道	にいだ ひろし	北海道高等学校PTA連合会	長年にわたり多種多様なPTA活動を行い、北海道高等学校PTA連合会や全国高等学校PTA連合会の役員を歴任し、その卓越した見識と行動力でPTA活動に精励し高い成果を上げ、他の役員の規範となる活躍をされた。また、札幌市内におけるPTA活動の業績に対しては特に高い評価が寄せられているほか、現在も青少年の育成に係る多くの公職に就き、広い視野や豊富な経験をもとに、道内外のPTA活動の振興に貢献している。
		新井田 寛	元会長	
3	北海道	やまき まさる	北海道高等学校PTA連合会	学校から高校に至るまで、長年にわたり様々なPTA活動の振興に努め、高等学校PTA連合会や空知管内のPTA活動をリードし多くの業績を残したことは特筆に値する。常に、PTA活動の原点である「子どもたちの健全な育成」という視点を持って活動したほか、社会教育や青少年の育成に係る多くの公職にも就き、広い視野や豊富な経験をもとに、PTA活動の充実・発展に寄与したその功績は大きい。
		山木 傑	元副会長	
4	北海道	やまもと みか	北海道高等学校PTA連合会	長年にわたりPTA活動に勤しみ、北海道や全国の役員として、地道な努力を惜しまず、PTA活動の充実発展に貢献した姿に対し高い評価が寄せられている。また、多くの公職にも就き、時代に合った審議・提言を継続した功績は大きい。また、小中高の役員を通じ、学校の教育活動への支援や、PTA会員の子育てや教養に関する研修会の実施にも意欲的に取り組むなど、幅広い分野の活動充実に尽力した。
		山本 美加	元副会長	
5	青森県	しばた かずのり	八戸工業大学第二高等学校・附属中学校父母と教師の会	会長として、卓越したリーダーシップがあり、会員の信頼も厚く、組織改革や財務健全化に尽力するなど、大いに指導力を発揮した。停滞していた活動を活性化するに当たり、まず、保護者間の親睦を深めることで、PTAの会の雰囲気明るくなり、活動もそれに伴って盛んになっていった。さらに本校教職員に対しても積極的にコミュニケーションを取り、PTAとして実行していきたいことを明確に打ち出し、学校の活性化にも多大な貢献をした。生徒とも良好な関わりを持つため、登校時のあいさつ運動や各行事の際、会長の活動を通して、生徒たちの学校への帰属意識を高めてくれた。まさに、「保護者」「教職員」「生徒」に愛情を持ち、広く活動を展開したPTA会長である。
		柴田 一則	元会長	
6	岩手県	しみず しげき	岩手県高等学校PTA連合会	令和2年6月に開催予定だった岩手県高等学校PTA連合会結成70周年記念式典がコロナ禍のため開催できなくなったが、規模を縮小しながらも会長のリーダーシップにより1年延期して令和3年6月に実施し、70周年記念誌も発行し、会員の学びの機会を確保した。令和4年7月に開催した第71回東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会では、パネルディスカッションのコーディネーターを務め、コロナ禍における東北各県のPTA活動に係る発言内容を適切に整理し、参加者及び会員の学びにつなげた。人脈が広く、講演会講師の選定・依頼においても力を発揮した。決断力・行動力に優れ、あらゆる場面でリーダーシップを取り連合会組織の運営・発展に力を発揮した。
		清水 成樹	前会長	
7	岩手県	さとう たかし	岩手県高等学校PTA連合会	令和3年6月に開催した岩手県高等学校PTA連合会結成70周年記念式典では、新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分にしながら安全な運営に尽力するとともに、記念誌作成の中心者となり、会員の学びにつながるよう編集を工夫して発行した。令和4年7月の第71回東北地区高等学校PTA連合会盛岡大会では、規模を縮小しながらも、新型コロナ対応等の工夫を行い、3年ぶりの参集型による開催実現に大きく貢献した。事務処理能力に優れ、会務の省力化や経費節減に力を尽くした。また、企画力・運営力に優れ、上記2つの行事を成功裏に終えるなど、連合会組織の発展に大いに寄与した。
		佐藤 尚	事務局長	
8	秋田県	いしじま かつひこ	秋田県高等学校PTA連合会	秋田県高等学校PTA連合会会長及び副会長、さらには単位PTA会長として、その重責を果たすとともに、献身的に組織の充実と運営の改善に努め、PTA活動の活性化に寄与した。特に、令和2年7月に開催を予定(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)していた第69回東北地区高等学校PTA連合会大会秋田大会に向けて、準備委員会を組織し、中央地区の高等学校の校長やPTA会長と協議しながら準備を進めた。また、単位PTA会長として統合に向けて、県教育委員会に保護者や地域の要望を伝えるとともに、学校側と連携しながら統合準備に向けて尽力した。
		石嶋 勝比古	元会長	
9	秋田県	みなとや けいじ	秋田県高等学校PTA連合会	秋田県高等学校PTA連合会会長及び副会長、さらには単位PTA会長及び副会長として、長年にわたりその重責を果たすとともに、組織の充実及び運営の改善に貢献し、PTA活動の活性化に寄与した。特に、令和3年度の秋田県高等学校PTA連合会創立70周年においては、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら記念式典の開催や記念誌の作成等にむけて卓越した統率力を発揮し、PTA会員からの信望も厚いものがあつた。
		湊屋 啓二	前会長	

10	山形県	あじき かつひこ	山形県高等学校PTA連合会	東北地区高P連山形大会の開催にあたり、会長として先頭に立ち、開催準備と組織運営を事務局職員・保護者と共に取り組み、その重責を果たした。多くの方々の温かい協力により1500名を超える参加者を迎え、大会を成功に導いた。この大会は東北地区の高等学校PTA会員が様々な情報を共有し、高校生一人ひとりが個性を奏दैしながら、未来を拓く新たな可能性を創り出せるように、これからのPTA活動の在り方を考える機会となり、会員相互の連携を深めるとともに、高校生の健全育成に向けた教育の諸課題について協議され、有意義な大会となった。
		安食 克彦	元会長	
11	福島県	いしかわ なおや	福島県高等学校PTA連合会	社会の状況、中でも東日本大震災及び原発事故による被災地の現状と、PTAの果たすべき役割に関する深い認識のもと、さらには単位PTAの会長から全国組織の役員までを兼務する広範な視点から、その場その場の課題を発見し、その改善・解決のために的確かつ迅速な取組を行った。特に福島県高等学校PTA連合会会長として、懸案であった会費額の改定による財務状況の改善、情報技術の発達に即応した調査広報活動の改革、東北地区及び全国組織における研修と交流の充実、被災地における教育環境の復旧・整備の促進等の取組は、高く評価されるべきものである。
		石川 直哉	元会長	
12	栃木県	やまもと たかお	栃木県高等学校PTA連合会	学校PTAでは副会長や会長として、保護者同士はもとより、教員との連携の強化に努めた。また、栃木県高等学校PTA連合会では2年間会長を務め、関東地区においても様々な機会を通して親睦融和に心を砕き、きずなの深まりに貢献した。さらに、全国高等学校PTA連合会では研修委員として活動し、全国大会の企画や運営に積極的に関わり、大会を意義あるものに仕上げるために尽力した。
		山本 孝雄	元会長	
13	群馬県	おおさわ えいいちろう	関東地区高等学校PTA連合会	群馬県高等学校PTA連合会会長として、会の円滑な運営に務めるとともに、関東高等学校PTA連合会会長として関東地区のPTA連合会の運営に寄与した。令和2年に開催が予定されていた第66回関東地区高等学校PTA連合会群馬大会の実行委員長として、大会の運営やその準備等の中心となり大会を成功裏に終わらせるべく奮闘した。また、全国高等学校PTA連合会の地区理事として、関東地区の当面する課題や全国高等学校PTA連合会から提起された課題等の解決に向け、関東地区をうまくまとめたことは大いに評価できる。
		大澤 栄一郎	元会長	
14	埼玉県	いしい しほ	埼玉県高等学校PTA連合会	県立浦和第一女子高等学校PTA副会長・会長として、また同校後援会会長として、その活動を通して学校内外において、生徒の教育活動の活性化や安全推進、健全な育成に関する知見を深め、かつ地域にそのノウハウを広げるために活動してきた。埼玉県高等学校PTA連合会会長として、多くの先輩県連会長や他県の役員とのパイプを引き継ぎ、コロナ禍以前の活動もさら改善を加えて、活性化させている。事務局運営にも積極的に関与し、ときに事務局を支えることも視野に入れており、あらゆる分野を円滑に連携させ、PTA活動の活性化に大きく貢献した人物である。
		石井 志穂	会長	
15	神奈川県	なかの まいこ	神奈川県立高等学校PTA連合会	神奈川県高P連会長を務めた2年間は、それまでの役員経験をフルに活用し、新たな事業(「学び、行動するPTA」表彰、総合補償制度、新分科会発足、賛助会員制度等)を立ち上げるとともに、開かれたPTAを目指し、PTA会員(保護者・教職員)と高P連が共に歩む姿勢を強固なものにした。両者が協力しながら、青少年の健全育成という不変のミッション達成に向けて、県教委、他県高P連、全国高P連(令和2年～3年理事)等と積極的に連携し、多方面に大きな影響力を持つ会長としてその職責を果たした。会長退任後は、高P連顧問として後に続く役員や理事に指導・助言を行った。
		中野 真衣子	元会長	
16	神奈川県	よねやま けん	神奈川県立高等学校PTA連合会	中学・高校とPTA会長を経験し、学校現場におけるPTAの役割を十分に認識した上で、高P連の役員(総務・会長)に就任した。総務としては高P連の重要なミッションである青少年の健全育成について、分科会をリードして現場のニーズに即した研究と発表会を行い、県内各校のPTA活動に資する成果を残した。会長職においてはコロナ禍で厳しい時期であったが、会議も含めてオンラインを即座に取り入れるなど、ピンチをチャンスとみなしての機を見て敏な行動力のおかげで、ほぼ通常の活動を維持することができた。また、令和4年度神奈川開催関東大会の実行委員長として3年ぶりの大会開催を決断し、安全・安心な大会に向けた準備の指揮を執り、見事成功を収めた。
		米山 賢	前会長	
17	新潟県	さとう こうじ	新潟県高等学校PTA連合会	新潟県いじめ問題対策連絡協議会の団体代表として、いじめに悩む子どもたちを救うために、家庭、学校、地域や関係機関と強く連携し「いじめを決して見逃さない、許さない」という意識を県P会員に共有させ、いじめ防止に全力で取り組んだ。また、全高P連の役員や北信越地区高P連の活動を通して、また県高P連の会長として、「PTAの目的や役割の再認識」、「会員の帰属意識、参画意識の醸成」等の実践に努めた。その結果、各単Pの活動が積極的かつ主体的に行われており、それに伴い、県高P連の活動が活性化している。今日の教育課題に対して、県高P連会長として真剣に取り組む熱意と高い指導力が、新潟県高等学校PTA活動の振興に大きく貢献し、その功績は顕著である。
		佐藤 康司	元会長	
18	富山県	やまざき ひとし	富山県高等学校PTA連合会	きわめて多年にわたりPTA活動に深く関わってきた。その活動も、小・中学校から高等学校まで多岐に及び、それぞれでPTA会長や執行部などの要職で活躍してきた。広く俯瞰的な視点から生徒の成長を見つめ、社会情勢に対応して適切な活動を行ってきた功績は非常に大きなものと言える。すべての活動において、児童・生徒の安全を第一に、教育環境の整備に力を注いできた。特に、富山中部高等学校のPTA役員として、生徒の健康や学習の効率化を考えて空調設備の設置などに尽力した。そのほか、さらには、授業力の向上を目的とした教員の研修も重視し、意欲のある教員が積極的に参加できるよう支援を行った。
		山崎 均	元会長	
19	富山県	ふかまつ しげる	富山県高等学校PTA連合会	富山県高等学校PTAにおいても副会長を1年間勤めた後、会長を2年間勤めた。会長であった2年間は富山県高等学校PTA連合会の副会長を1年、会長を1年間勤め、富山県PTA活動の中心を担い高等学校教育の充実・振興および青少年の健全育成にこの間多大な貢献をした。普通教室の公費エアコン設置、PTA設置のエアコン買い取りの時期でもあり、単Pおよび県高P連として様々な対応に力を尽くした。また、全国高等学校PTA連合会会長が県高P連顧問ということもあり、全高P連へ県高P連として協力をした。
		深松 茂	元会長	

20	石川県	かねだ としはる	石川県高等学校PTA連合会	平成30年度に石川県高等学校PTA連合会長兼金沢地区高等学校PTA連合会長を務め、生徒が抱えるネット関連課題について研修会を主催し、多くの保護者に学びの機会を提供し、理解を深めることに貢献した。また、石川県高等学校PTA連合会行事の改善かつ円滑な運営にも尽力した。令和4年度に本県が主管した第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会の開催に向け、平成30年から5年間にわたり企画運営に携わり、石川の魅力を全国に発信した功績も極めて大きい。 平成30年度に石川県立金沢西高等学校PTA会長、続く令和元年度には金沢市立工業高等学校PTA会長を連続して務め、保護者の研修会をはじめ地域連携事業の充実、学校方針の保護者への浸透と協力体制の構築、教育環境の改善に取り組み、生徒の心身の健全な成長と学校の活性化に対して大きな後押しとなった。
		金田 稔治	元会長	
21	石川県	あわだ まさと	石川県高等学校PTA連合会	第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会の実行委員長として、石川県高等学校PTA連合会員の協力体制を築き、成功させた功績は大きい。 石川県高等学校PTA連合会長、金沢地区高等学校PTA連合会長、石川県立金沢泉丘高等学校PTA会長といった重責を幅広く兼務し、学校単位で加入する賠償責任補償制度の加入校を大幅に増加させる等、PTA事業の充実と組織の活性化に貢献した。 心の教育推進協議会や「社会を明るくする運動」石川県推進委員会、石川県交通安全推進協議会、石川県高等学校保健会、石川県防犯まちづくり推進協議会等の委員に就任し、石川県高等学校PTA連合会の立場から積極的に意見を述べ、情報交換する等、地域の教育環境改善に大きく貢献した。
		粟田 真人	元会長	
22	福井県	さいとう ちから	福井県高等学校PTA連合会	足羽高校において、平成29年度は副会長、平成30年度は会長、その後令和2年度までの2年間は顧問として、PTA活動全般に対して率先して参加するとともに、役員会、委員会をよくまとめ、多大な貢献を行った。あいさつ運動に率先して取り組み、送迎時の安全確保のため構内道路にロータリーを整備するなど、生徒の安全・安心の確保に尽力、教職員からも慕われる会長、顧問であった。県高等学校PTA連合会では、令和元年度から2年間連合会会長として、県内のみならず北信越や全国の会議などに参加、情報交換を行い、得た情報をフィードバックするなど、福井県高P連の発展に大きく貢献した。令和2年度は、北信越地区高等学校PTA連合会会長、全国高等学校PTA連合会理事を兼務し、多くの大会や会議に出席（一部リモート）、特に「令和2年度北信越地区高等学校PTA連合会研究大会福井大会」の開催に向けては、実行委員会の立ち上げから準備、運営に至るまで中心となって取り組むなど多大な功績を残した。
		齋藤 力	元会長	
23	福井県	こばやし いちろう	福井県高等学校PTA連合会	高志高校において、令和元年度から2年間副会長、令和3年度は会長としてPTA活動に対して率先して取り組み、役員会、委員会をよくまとめ、多大な貢献を行った。県高等学校PTA連合会では、令和元年度は理事・健全育成委員会副委員長、令和2年度は総務委員長、そして令和3年度は会長として多くの会議に参加し情報交換を行い、特にコロナ禍におけるPTA活動の在り方などのノウハウをフィードバックするなど県高等学校PTA連合会の活動に大きく貢献した。特に令和3年度は「持続可能な社会の実現のために」というスローガンのもと、「デジタル化の推進」と「SDGs」をテーマに掲げ、PTA会員だけでなく生徒に対する講演活動にも積極的に取り組んだ。特に、環境活動家の露木志奈氏を招いてのキャリアガイダンスは好評であり、その後複数の高校でも講演が行われた。
		小林 一朗	前会長	
24	山梨県	かねまる ただし	関東地区高等学校PTA連合会	令和2年から令和3年にかけて、山梨県高等学校PTA連合会会長、関東地区高等学校PTA連合会会長として、山梨県連役員・会員及び関東7県の県連役員を統括指揮し、「第67回関東地区高等学校PTA連合会大会山梨大会」の開催に向けて尽力した。山梨大会は、新型コロナウイルス感染症による3回目の緊急事態宣言発令により、結果的に誌上での開催となったが、その後の関東大会のあり方について大きな教訓を残した。平素から子供たちの教育に貢献しようという強い意識があり、学校関係者だけでなく、地域の保護者とも連携し、青少年の心身の健全育成、規範意識の向上に努めている。誠実な人柄でリーダーシップもあり、組織の長として相応しい人物である。
		金丸 正	元会長	
25	長野県	まつした たえこ	全国高等学校PTA連合会	長野県高等学校PTA連合会の会長として、リーダーシップを遺憾なく発揮してPTA活動の推進に尽力した。さらに、北信越地区5県のPTA連合会会長及び全国高P連理事として他県との交流・親睦・情報交換を促進し、会員が積極的に、課題を持ってPTA活動に参加することの大切さや活動成果を実感できるよう導いた。また、保護者が学校教育にどのように関わっていくべきか、PTA活動がよりよい学校づくりに如何に貢献しうるかを実践を通して示し、県教育委員会と県高等学校PTA連合会との連携、保護者と学校の連携推進、学校および地域の教育力向上に貢献した功績は多大なるものがある。令和4年度からは全国高等学校PTA連合会理事・副会長として、今までの経験を生かし活躍している。
		松下 妙子	理事・副会長	
26	岐阜県	くにい しげひろ	東海地区高等学校PTA連合会	単Pである岐阜県高等学校PTAでは、3年間にわたり教職員と協力しながら、役員の任を立派に果たした。また、岐阜県高P連会長としては、県高P連の行事や会議においてリーダーシップを発揮するとともに、その他県や各団体が主催する多くの諸会議に積極的に参加し、保護者や生徒の立場で意見を述べるなど、より良い教育の振興や環境の改善に尽力した。さらには、東海高P連会長として東海地区を取りまとめ、その意見を全国で反映させるなど、東海及び全国高P連の発展に寄与した。誰に対しても丁寧に意見を聞き対応するなど、多くの皆さんから慕われるとともに頼りにされ、人間的にもたいへん魅力があり申し分のない人物である。
		國井 重宏	元会長	
27	静岡県	みわ こうたろう	静岡県公立高等学校PTA連合会	所属校における9か年のPTA役員の経験を活かして、本連合会組織の活動の充実に大きな役割を果たし、本連合会の活動が活発になった。東海地区高P連では副会長、全国高P連では研修委員を務め、本県の代表として参加し、地域や全国から得た情報を本連合会の活動に活かしている。委嘱された青少年育成会議やいじめ問題対策連絡協議会、県立高校の在り方検討会議の他、交通安全対策協議会、まちづくり県民会議など、数々の会議で委員を務め、意欲的に参加するとともに、得た知識を本会の活動に還元させている。
		三輪 高太郎	会長	
28	静岡県	いけや ひろし	静岡県公立高等学校PTA連合会	9年間に及ぶPTA活動での経験を活かし、本連合会の活動に多大な貢献をしてくれた。また、副会長として、会長の補佐・会員への指導には定評があり、頼りにされた。本連合会を通じて、県から委嘱されたネット依存対策推進事業企画運営会議や、指導力不足教員審査委員会審査委員など、子どもたちを取り巻く環境の整備に広く携わり、児童生徒の健全育成に力を尽くしている。本連合会の活動主旨や役割を深く理解し、自身の本業以外の社会貢献に力を尽くそうとする姿勢は、大きく評価できる。
		池谷 浩	前副会長	
29	静岡県	ますたに なおひで	静岡県公立高等学校PTA連合会	6年間に及ぶPTA活動での経験を活かし、本連合会の活動に多大な貢献をしてくれた。また、副会長として本連合会の活動の大黒柱となり、他の役員から頼りにされた。県高P連の果たすべき役割を十分に理解し、コロナ禍の下での活動を含む山積された課題に対して、的確な指摘や提言を行ってくれた。社会貢献に対して、真摯な姿勢が目立っている。県から依頼された委員についても、積極的に引き受け、その責任を十分に果たし、青少年のおかれた課題をPTA活動に還元するよう力を尽くした。
		益谷 尚豪	前副会長	

30	静岡県	えぐち ゆきお	静岡県公立高等学校PTA連合会	約7年間に及ぶPTA活動での経験を活かし、本連合会の活動に多大な貢献をしてくれた。また、副会長として、会長を補佐し、各会議の司会進行や円滑な運営に貢献した。本連合会を通じて、県から委嘱された県青少年環境整備審議会での活動を通して、子どもたちや青少年を取り巻く環境の整備に広く携わり、その健全な育成に力を発揮している。現在も本連合会の顧問として、総会や役員会、研修会などに積極的に役割を果たしており、他の役員や会員からの信頼は非常に厚い。
		江口 幸生	前副会長	
31	愛知県	わたなべ しゅうぞう	全国高等学校PTA連合会	平成30年度は、本校にとって100周年の特別な年であり、多くの事業が計画された。学校・同窓会・PTAが一丸となって、行事を推し進めたが、その一翼としてリーダーシップを発揮した。また、同年に愛知県公立高等学校PTA連合会の会長となり、愛知県全体のPTAをまとめ上げ、任期末には同連合会より表彰を受けた。学校の内外を問わず顕著な活動により、安定して実績を上げてきた。
		渡邊 修造	元理事	
32	愛知県	くろだ こうさく	全国高等学校PTA連合会	任期中は県内と校内のPTA活動に対して意欲的に取り組み、校内のPTAについては組織の改革を進め、現在までその功績が脈々と受け継がれている。運営については協働で行い、広い視野で物事を考え、多くの意見を聞きながら実行に移していた。特に、新たに枠組みを変更した地域交流会では多くの保護者の意見を聞くため、参加人数が増えるように考え、参加した保護者の意見を丁寧に聞き取っていた。時として、疑問を感じるようなPTA活動には意見を述べ、自らが納得できるまで論争する場面もあった。任された役を確実にこなし、PTA役員を始め、教職員や生徒からも信頼を集める人物であった。
		黒田 耕作	前監事	
33	愛知県	ほなが まさお	愛知県公立高等学校PTA連合会	家業が忙しい中、PTA活動を快く引き受け、やるからには「楽しく前向きに」をモットーに、多くの保護者や関係機関の方々を巻き込んで常に積極的に取り組んできた。令和2・3年度、校内はコロナ禍にあったが、持続可能なPTA活動の実施を目指し、多くの場面で学校に活力を注入し、学校関係者からも深い感謝を受けている。学校のPTA会長のみならず、令和3年度には愛知県高P連の会長という重責を担い、特に私学に後れをとらないようにと、県立学校の保護者を代表して、単位PTAに呼びかけて教育環境整備に向けた教育予算要望書を取りまとめた熱意と功績は大いに評価に値する。
		保永 真生	前会長	
34	愛知県	まつした ゆか	全国高等学校PTA連合会	尾北高等学校PTA会長として、新型コロナウイルス感染症予防の対応をしながらPTA行事を実施し、PTA役員間のコミュニケーションを密接に取りながら組織としての機能を果たすことに貢献した。また、愛知県公立高等学校PTA連合会においては、令和3年度には副会長として、令和4年度には会長として、その組織運営に貢献した。さらに、東海地区高等学校PTA連合会においては、令和4年度の会長として地区の連携を図り、東海地区総会や東海大会などの実施について貢献した。
		松下 由花	理事	
35	三重県	ふじはら さちこ	東海地区高等学校PTA連合会	3人の子どもの保護者として、小学校では統合された錦生赤目小学校の初代PTA会長を務めて以降、赤目中学校PTA会長、津西高校PTA会長(2回)と常に子どもたちの成長を直接支援したり、教育環境を改善する中心的存在であると共に、三重県高等学校PTA連合会会長及び、東海地区高等学校PTA連合会会長(全国高等学校PTA連合会理事)という重責を果たしてきた。また、併せて名張市PTA連合会の副会長、名張市社会教育委員、三重県部活動在り方検討委員、三重とこわか国体実行委員などを歴任し、地域振興にも大きく貢献してきた。PTA活動は、保護者と学校(教職員)・地域を繋ぐ大切な仕事と位置づけ、それが子どもたちの健やかな成長に多大に資するということを常に念頭に置いて行動し、厳しい状況の中でも、持ち前の人柄、リーダーシップで周囲に大きな好影響を与えたとともに、建設的に導きPTA連合会の活動全体及び地域社会に大きく寄与した。
		藤原 佐知子	元会長	
36	滋賀県	すみや まさし	滋賀県公立高等学校PTA連合会	当推薦候補者が滋賀県立守山中学校・高等学校の副会長に就任とともに滋賀県公立高等学校PTA連合会の会長に就任した年度はコロナ禍であり、様々な活動が中止になったり、制限される社会情勢であった。PTA活動においても会議や学校行事への参加が中止・延期になったり、人数制限等の制約が課された状況であった。そんな中で、常に可能性を模索し、他のPTAの会員を鼓舞しリーダーとして、最大限のPTA活動を行ったといえる。そのリーダーとしての資質や人間性は称賛に値するものであり、ここに推薦する。
		炭谷 将史	会長	
37	京都府	うたき としあき	京都府立高等学校PTA連合会	京都府、近畿地区、全国の高等学校PTA連合会の役員として活躍し、特に京都府のPTAに対して、近畿地区や全国の情報を伝え、京都府のPTA会員の活動に大きな役割を果たした。また、京都府立高等学校PTA連合会の副会長や会長として連合会をまとめ、ブロック会議、各部会の充実を図り、社会教育関係団体としてPTA活動の充実、発展に努めた。また、全国高等学校PTA連合会全国大会においても個人表彰を受賞するなど、連合会や各ブロックや単位PTAでの研修会を充実し、社会の変化に対応して新しい知識と技術を習得するなど、心豊かな生涯学習活動を進めた。現時も同校PTAや連合会のOBとして、現役PTAを支援するなどPTA活動の推進に尽力している。
		卯瀧 俊明	元会長	
38	京都府	ふじい まり	京都府立高等学校PTA連合会	近畿地区高等学校PTA連合会、健全育成委員会委員、監事を務め、平成20年度全国高等学校PTA連合会の研修委員会副委員長として、「高校生と保護者の進路に関する意識調査」に取り組み、京都府の連合会、単位PTAに対して、近畿地区や全国の情報を伝え、京都府のPTA会員の活動に大きな役割を果たし、全国高等学校PTA連合会全国大会においても個人表彰を受賞した。京都府立高等学校PTA連合会の副会長や会長として連合会をまとめ、総会や研究大会、各ブロック指導者研修会の運営に関わりPTA活動の充実、発展に努めた。
		藤井 真理	元会長	
39	京都府	せんが おさむ	京都市立高等学校PTA連絡協議会	小学校、中学校、高等学校と所属校において長年に渡りPTA会長を務められるとともに、各校種の連絡協議会においても会長職等を長く務められた。京都市立高等学校PTA連絡協議会副会長の時代には、京都府立高等学校との連携を図り、同年代の子を待つ保護者として、設置者の枠を超えた連携交流に努めた。また、他校種でのPTA会長経験を活かして、高等学校の保護者に他校種での取組内容を紹介するなど、京都市のPTAの特徴である、5校種(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、総合支援学校)のPTAが一体となった活動を推進するうえで、その力を大いに発揮した。
		千賀 修	副会長	

40	京都府	やまもと かずし	京都市立高等学校PTA連絡協議会	小、中学校及び高等学校それぞれの校種でPTA会長等を務められるとともに、それぞれの校種における連絡協議会においても会長等の要職を務めた。その間、学校と保護者それぞれの思いを橋渡しすることに尽力するなど、学校教育の推進に貢献した。また、京都市立高等学校PTA連絡協議会会長、京都市PTA連絡協議会副会長の時代には、各高等学校の保護者を対象とした研修会を積極的に実施し、保護者が自ら学ぶ機会の創出に尽力され、京都市立高等学校PTA全体の発展に大きく貢献した。
		山本 一史	会長	
41	大阪府	みやもと たけし	大阪府立高等学校PTA協議会	PTAの経験としては平成18年度から小学校2年間、平成21年度から中学校3年間、高校4年に加えて府立高校全体のPTA会長も経験している。また、地域での活動にも参加しており緊密な連携も取っている。一番の功績としては個別の自転車保険を大阪府下で一括して団体保険にしたことで、時期的に自転車事故の問題が全国で取り上げられているとき、安価で保護者の要望に応えられる保険業者を選定した上で2割から3割の保険料が引き下げられ保護者の負担が軽くなったことが挙げられる。保護者や学校が今のようなものを求めているのかを考え、その要求に寄り添って目的を実現した功績は大きい。
		宮本 剛	元会長	
42	大阪府	さとみ えいいち	大阪府立高等学校PTA協議会	幼稚園単位PTA会長を2年間、小学校単位PTA会長を2年間、併せて阿倍野区PTAの会長を3年間、高校では単位PTA会長を3年間、大阪府立高等学校PTA協議会会長を1年間、全国公立高等学校PTA連合会の理事を1年間務めた。また、現在も大阪府立大塚高等学校PTAの顧問、大阪市阿倍野区PTA協議会の顧問を続けており、生徒が安心・安全に生活できるように尽力し続け、大阪府・大阪市・阿倍野区の学校教育振興に大きな功績を残している。
		里見 英一	元会長	
43	大阪府	みやはら いわみ	大阪府立高等学校PTA協議会	小・中・高校PTAのすべてにおいて、顕著な活動振興に携わり、功労を築いてきた。とりわけ、保護者として在学する高校2校において、計6年間PTA役員として尽力し、いずれの高校においても会長職を務めた。またブロック幹事校で大阪府立高等学校PTA協議会会長、大阪府立実業高等学校PTA連合会会長、近畿地区高校PTA連合会副会長として、近畿大会、大阪大会を成功裡に導くなど、学校・府・近畿のPTAの振興に寄与した功績は大きい。
		宮原 岩美	元会長	
44	大阪府	しんたに ゆきのり	大阪府立高等学校PTA協議会	保育園PTAに始まり、中学校でPTA2年間、高校でPTA1年間とそれぞれの学校においてPTA活動の振興に携わり、功労を築いてきた。特に、高校では会長職を務め、その年度に同時に大阪府立高等学校PTA協議会の会長を務め、研究集会に様々な趣向を凝らしてよりPTA活動の楽しさを参加者に伝えることに重点を置き、研究集会を成功に導いた。近畿地区の活動では役員として近畿大会で活躍した。
		新谷 幸徳	元会長	
45	大阪府	たけだ やすかず	大阪府立高等学校PTA協議会	平成13年より小学校で1年間、中学校で2年間、高校で1年間とそれぞれの学校でPTA活動の振興に携わり、功労を築いてきた。特に、柏原東高校では会長職を務め、その年度に同時に大阪府立高等学校PTA協議会の会長を務め、研究集会に様々な趣向を凝らしてよりPTA活動の楽しさを参加者に伝えることに重点を置き、研究集会を成功に導いた。近畿地区の活動では役員として近畿大会で活躍した。
		武田 保和	元会長	
46	兵庫県	はやし やすひろ	兵庫県公立高等学校PTA連合会	県立神戸高等学校PTA組織の整備・充実、運営面の改善に尽力し、会員相互の学びに関する諸活動の振興に寄与した。神戸高等学校でのPTA理事・会長等を経験後、第44回近畿地区高等学校PTA連合会兵庫大会の実行委員長を務め円滑な運営に尽力した。また、同時に兵庫県公立高等学校PTA連合会副会長として、県内のPTA活動の充実に貢献した。
		林 恭弘	元副会長	
47	兵庫県	みき だいぞう	兵庫県公立高等学校PTA連合会	県立姫路西高等学校のPTA会長として、県が主導する通学区域の改変や、文部科学省スーパーグローバルハイスクール事業の最終年の取り組み等、学校を取り巻く様々な変革や成長の時期に学校を支え、PTAも自ら成長する機運を醸成すべく取り組んだ。また、最終年の1年間は、兵庫県公立高等学校PTA連合会会長を兼任し、それぞれの団体活動に積極的に取り組み、幅広い活動を展開させるとともに、近畿地区PTA連合会兵庫大会では、近畿府県の多くの会員に学びの場を提供し、PTA活動の充実に貢献した。
		三木 大三	元会長	
48	兵庫県	はらだ やすなり	兵庫県公立高等学校PTA連合会	単位PTAの役員として、コロナ禍において、学校行事への保護者の立ち入りが制限され、生徒の学校生活の様子に触れる機会を失ったことに対応し、保護者が知りたい学校内の様々な様子を発信する取り組みを行う等、学校を支え、PTA会員にその活動を広く周知し多くの賛同を得た。また、全国高等学校PTA連合会の調査広報委員及び、兵庫県公立高等学校PTA連合会会長を兼任し、それぞれの団体活動に積極的に取り組み、中心的な役割を担った功績は多大である。
		原田 康成	元会長	
49	奈良県	くりもと かおる	奈良県高等学校PTA協議会	令和元年末から続くコロナ禍により、各単位PTAの活動が制限される中、自身が所属するPTAの活動及び組織の改善に積極的に取り組んだ。また、奈良県高等学校PTA協議会の令和2年度理事、令和3年度副会長として会長を補佐し、協議会の各種事業、特に特別支援学校にかかわる事業について統率力、指導力を発揮し、その企画、運営に尽力した。そして、本県高等学校及び特別支援学校のPTA活動のために数々の功績を残している。このように、本県PTA活動や社会教育活動、特別支援教育の充実・発展に大いに寄与された人物であり、このたびの功労者表彰に値する人物である。
		栗本 薫	元副会長	

50	奈良県	はりしま さとし	奈良県高等学校PTA協議会	令和元年末から全世界を襲ったコロナ禍により、各单位PTAの活動が制限される中、奈良県高等学校PTA協議会の令和2年度会計、令和3年度会長として、運営が難しい中、協議会の各種事業について統率力、指導力を発揮して、その企画、運営に尽力し、数々の功績を残した。また、奈良県高等学校PTA協議会だけでなく、奈良県社会教育委員や奈良県いじめ対策連絡協議会委員、「地域と共にある学校づくり」推進委員なども兼務し、学校教育や地域教育にも貢献した。このように、本県PTA活動や社会教育活動の充実・発展に大いに寄与された人物であり、このたびの功労者表彰に値する人物である。
		播島 聡	元会長	
51	和歌山県	やすい しんすけ	和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校PTA	PTA活動への逆風が吹く昨今、母校のPTA活動の活性化のため、豊富な人脈を駆使してOB保護者を中心に参加を呼び掛けたことで幅広い保護者からも賛同が得られた。記録に残っている20年間で最多人数の役員体制を構築することができ、より多くの保護者が学校に関心を持つに至っている。こうした学校と保護者の一体感の醸成は、単に伝統校であるというだけで説明できず、候補者の献身的な活動と卓越したリーダーシップによるところが大きく、余人をもって代えがたい功績であるといえる。
		保井 伸介	会長	
52	和歌山県	おざき ゆうへい	海南市立海南下津高等学校PTA	調理師養成施設を含む家庭科専門高校のPTA会長として、5年間にわたり、常に生徒の心身の健康状態に気を配りながら、生徒の学習や実習活動がより充実したものになるよう「保護者としてできること」を考え、広く会員に呼びかけ、PTA活動を牽引してきた。海南下津高等学校は令和6年3月末をもって閉校となることが決定しているが、最後まで地域との橋渡し役を務めながら、生徒の学習環境を守り、特色ある教育活動を支援すべく、本部役員と力を合わせて尽力している。なお、海南下津高等学校PTAは、生徒の健全育成と地域の高等学校教育の振興に貢献したことが評価され、令和4年第71回全国高等学校PTA連合会大会において、会長表彰(団体)された。
		尾崎 祐平	会長	
53	鳥取県	にしかわ まさたか	鳥取県立鳥取西高等学校PTA	幼稚園、小学校、中学校、高等学校と所属する単位PTAの会長、副会長等を長年務めるとともに、鳥取県私立幼稚園PTA連合会会長を1年間、鳥取県高等学校PTA連合会の会長を2年間務め、長年にわたってPTAのリーダーとして、諸課題に対して的確な対応を行うことにより、多くの会員からの厚い信頼を受け、幅広い活動を展開させることに成功した。また、常に「子どもたちのために」という理念のもと、保護者自らの意識改革を求め、各種研究会など学校を支えるPTA活動をさらに活性化させた。さらに、中国・四国地区高等学校PTA連合会理事を1年、全国高等学校PTA連合会理事を2年間務め、全国、文部科学省並びに中国・四国地区において活発な情報、意見交換を行い、鳥取県のPTA活動の発展に寄与した。特に「第61回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(鳥取大会)」の運営にリーダーシップを発揮し、成功に導いた功績は大きい。
		西川 昌孝	前会長	
54	島根県	おおや みつひろ	島根県高等学校PTA連合会	単P会長として地域と学校の架け橋としてのPTA活動に尽力し、地域全体で生徒を育てる活動を実践した。また、県高P連会長として様々な場面でリーダーシップを発揮し、特に、令和3年8月に開催された第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会の準備委員会・実行委員会の会長を4年間務め、コロナ感染症で1年間延期となった島根大会を新しい形で成功させた。これは島根県高P連のみならず全国高P連の歴史に名を残す貢献である。
		大屋 光宏	元会長	
55	島根県	かつべ まさゆき	島根県高等学校PTA連合会	島根県高P連事務局長として、年3回の会報の発行、研修会の定期的な実施、「各单位PTAの活性化に関わる事業助成金制度」、「スポーツやコンテスト等の世界大会出場者に対する会長激励費贈呈制度」の創設等、PTA会員の相互の交流やPTA組織の活性化を支援する制度を設け、PTA活動の活性化に尽力した。また、令和3年8月に開催された第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会の準備委員会・実行委員会の事務局長として大会を新しい形で成功裡に導いたことは島根県高P連史に残る貢献である。
		勝部 昌幸	前事務局長	
56	岡山県	はしの こういち	岡山県高等学校PTA連合会	地域社会における高校PTA活動への期待が高まっている中、岡山県高等学校PTA連合会美作地区会長として学校におけるPTA活動の充実に尽くした他、岡山県高等学校PTA連合会副会長として県内高等学校PTA相互の連携に努め、また研修会の開催等を通じて学校種別を越えた活動の連携・強化にも尽力した。
		橋野 耕一	元副会長	
57	岡山県	はまさき たかや	岡山県高等学校PTA連合会	生涯学習社会の進展や青少年問題への関心が高まっている今日、地域社会におけるPTA活動への期待は大きくなっている。このような中、学校におけるPTA活動の充実に尽くした他、岡山県高等学校PTA連合会会長として県内高等学校PTA相互の連携に努め、また研修会の開催等を通じて学校種別を越えた活動の連携・強化にも尽力した。
		浜崎 隆也	元会長	
58	岡山県	ふくおか たかし	岡山県高等学校PTA連合会	生涯学習社会の進展や青少年問題への関心が高まっている今日、地域社会におけるPTA活動への期待は大きくなっている。このような中、学校におけるPTA活動の充実に尽くした他、岡山県高等学校PTA連合会会長として県内高等学校PTA相互の連携に努め、また研修会の開催等を通じて学校種別を越えた活動の連携・強化にも尽力した。
		福岡 隆	元会長	
59	岡山県	ふくはら ひろゆき	岡山県高等学校PTA連合会	生涯学習社会の進展や青少年問題への関心が高まっている今日、地域社会におけるPTA活動への期待は大きくなっている。このような中、学校におけるPTA活動の充実に尽くした他、岡山県高等学校PTA連合会会長として県内高等学校PTA相互の連携に努め、また研修会の開催等を通じて学校種別を越えた活動の連携・強化にも尽力した。
		福原 弘之	元会長	

60	広島県	いふく さとし	広島県高等学校PTA連合会	県高P連会長として3年間、副会長として2年間務めたその間、リーダーとして、組織を統率し、率先して活動してきた。県高P連会長として、喫緊の課題に対して専門の講師を招き会員の研修を深め、資質の向上に精力的に取り組んできた。また、令和2年度の地区P連会長の際は、地区P連大会の企画運営を率先して行い、講師、実践発表等すべて準備できていたが、コロナ禍のためやむを得ず中止を決断した。平成30年の西日本豪雨災害での単位PTAによる義援金募集での対応等も含め、実行力と決断力に優れた人物である。
		伊福 聡	前会長	
61	広島県	つちや のぶひろ	広島県高等学校PTA連合会	県高P連事務局長を13年間務め、その間、会長を補佐し新しいことに取り組んできた。県高P連事務局長として喫緊の課題を把握して、会長へ助言し研修会等に取り組み、会員の研修を深め資質の向上に貢献した。二度の中国・四国地区高等学校PTA連合会大会事務局長の際は、企画運営を会長に助言してきた。広島土砂災害、西日本豪雨災害の発生時には、県高P連事務局長として、県高P連がどのような支援ができるかを考え、会長へ進言してきた。
		土谷 流廣	事務局長	
62	山口県	ぜにひろ よしかず	山口県立熊毛南高等学校PTA	小学校のPTA会長から連続して8年間、学校のPTA会長として積極的にPTA活動を牽引し、まさに、地域に信頼される存在として活躍された。また、学校運営協議会委員としても尽力し、学校の課題を明確にし、課題の解決に向けた方策等について積極的に提言・実行するなど、学校運営の進展に多大なる貢献を果たされた。さらに、山口県公立高等学校PTA連合会会長として、連合会の運営に多大な貢献をされるとともに県全体のPTA活動の推進に手腕を発揮された。
		銭廣 義和	元会長	
63	山口県	なかむら じろう	山口県立山口中央高等学校PTA	学校では令和元年度から3年間、学校行事やPTA活動において、的確な判断と行動力により、学校教育の振興や学習環境の改善に尽力された。生徒、保護者、教職員とのコミュニケーションを大切に活動し続けることで、活気あふれるPTA活動の推進に大きく貢献した。また令和3年度から2年間、山口県公立高等学校PTA連合会の会長として連合会の運営に多大な貢献をされるとともに、中国・四国地区高P連大会で自校のPTA活動について発表するなど、PTA活動推進の手本を示し、手腕を発揮した。
		中村 二郎	元会長	
64	徳島県	のだ まこと	徳島県高等学校PTA連合会	PTA活動での運営・活動の改善を図りながら、保護者と教師の連携を強化し、PTA諸活動の充実・活性化に取り組んだ。徳島県高等学校PTA連合会会長、全国高等学校PTA連合会理事として、全国・中四国・本県高等学校PTA連合会の諸活動活性化に取り組み、会員の意識向上と青少年の健全育成に尽力した。
		野田 誠	元会長	
65	徳島県	せお ようこ	徳島県立吉野川高等学校PTA	長年にわたり、単位PTA会長、徳島県高等学校PTA連合会副会長として、リーダーシップを発揮し、単位および県内のPTA活動の充実を図るとともに、生徒達の立場に立った教育環境の整備や教育活動に対する支援活動に努め、様々な面で尽力した。組織役員や会員からの意見をよく聞き、フットワークよく行動したことで、PTA活動を円滑に運営し発展させた。各種の会議などに積極的に参加し、保護者としての意見を述べるなど、その功績は大きい。
		瀬尾 陽子	前会長	
66	香川県	ちきりや こういちろう	香川県高等学校PTA連合会	会社経営の傍ら香川県高等学校PTA連合会会長を3年間の長きにわたって務め、多忙な中でも時代の変化や社会の要請に的確に対応したPTA活動の振興に貢献するとともに、コロナ禍で各種会議や研修会の開催が困難となる中、書面による決議や開催などに迅速かつ柔軟に対応した。また、県教委や県当局による多方面の諸会議で委員を務めるとともに、香川県PTA連絡協議会など他の機関とも連携し、PTA諸活動を通じた県下全域における青少年の健全育成にも尽力した。温厚篤実な人柄で、常に事務局や役員、会員との対話と連携に心を配りながら、組織としてのメリハリのある運営に努めたことから、会員間だけでなく教職員からの信頼も厚かった。
		千切谷 耕一郎	前会長	
67	香川県	あんど う こうじ	香川県高等学校PTA連合会	香川県高等学校PTA連合会事務局長を5年間の長きにわたって務め、その間、コロナ禍で各種会議や研修会の開催が困難となる中でも、会長と連携しながら書面による決議や開催などに迅速かつ的確に対応した。法令関係に明るく、高P連関連の規約や規程の改正に毎年のように精力的に取り組んだ。、巨大組織の運営にふさわしい規約・規定の整備は、同氏のご尽力なくしては実現しなかったものである。県教委や関係機関の諸会議で委員を務め、県下全域における青少年の健全育成にも尽力した。温厚篤実な人柄で常に会長を支えるとともに、他の役員や会員との対話や連携にも心を配り、諸活動の充実にも努めたことから会員や教職員間の信頼も厚かった。
		安藤 航二	前事務局長	
68	愛媛県	かじ ちぐさ	愛媛県高等学校PTA連合会	単位PTAにおいて副会長及び会長を7年にわたり務め、優れたリーダーシップと行動力を発揮し職責を遂行した。東予地区高等学校PTA連絡協議会の会長を務めた際には、長年PTA活動に携わってきた経験による見識、判断によって、会員からの人望が厚くPTA活動の中心的な役割と重責を担ってきた。愛媛県高等学校PTA連合会では、副会長として適切な判断と指導力により適正な運営に大きく貢献した。
		加地 千草	元副会長	
69	愛媛県	はなやま よしき	愛媛県高等学校PTA連合会	単位PTAにおいて副会長及び会長を6年にわたり務め、会員と地域とのつながりを大切にしながら、PTA活動の活性化のため組織の整備や充実に取り組んだ。愛媛県高等学校PTA連合会においては、理事、監事、委員会委員を歴任し、PTA活動の活性化に大いに貢献した。特に、会の適正な運営を図るため、令和元年度から特別委員会委員として、継続的に取り組み、PTA組織の振興・発展に大きく寄与した。
		花山 恵章	元理事	

70	高知県	かわきた やすひろ	高知県高等学校PTA連合会	高い使命感と優れた指導力を有し、保護者、生徒及び教職員 はもとより、地域とも連携協力の輪を広げる中で、教育環境の 積極的な整備やPTA活動の活性化 に大きく貢献した。特に、空調設備の早期設置に向けた関係機関への働き掛けは、生徒の学力向上に貢献 するとともに、部活動振興への 深い理解については、保護者が行かせたい学校、生徒が行きたい学校づくりに貢献した。また、高知県高等学校PTA連合会会長としては、常に大局的な見地に立脚し、公正な判断のもと安定した組織 づくりに努め、組織を活性化 させてきた功績は誠に大である。
		川北 恭弘	元会長	
71	高知県	なかむら てつお	高知県高等学校PTA連合会	高知県高等学校PTA連合会の 事務局長として、卓越した見識と実行力で広範囲に及ぶ業務の推進に尽力した。特に、平成26年度の「第56回中国・四国地区高等学校PTA連合会高知大会」では、通常の業務と並行しての開催であったが、中国・四国地区高等学校PTA連合会の牽引役として 活躍するとともに、本県にとって得難い財産を残すことができ、本県の高等学校の教育振興にとって、大きな成果を収めた。また、県立の校長経験や県の 行政経験などを生かし、学校、保護者、地域、各種関係機関など、後の組織運営においての関係づくりに寄与した。
		中村 哲夫	元事務局長	
72	福岡県	みね こうじ	福岡県公立高等学校PTA連合会	小・中学校のPTA 会長の経験を生かし、平成28年に本校のPTA に参加して間もなく会長職に就任する。その卓越した指導力と人間性で、翌29年度から2年間、県高P 連の会長として単P のみならず県高P 連の運営にも熱心に携わり、平成30年には1年間、九州地区高P 連の会長として本校PTA 及び県高P 連役員から全幅の信頼も得ていた。令和元年度の創立110周年記念行事では、PTA 会長として積極的に学校の教育活動を支援し、記念行事の成功に寄与した。また、令和4年度にはコロナ禍で低迷した PTA 活動を持ち前のリーダーシップと人間性で役員 の掘り起こし等を行い組織の活性化に貢献した。
		三根 広次	元会長	
73	福岡県	なかしま かつみ	福岡県公立高等学校PTA連合会	福岡講倫館高校学PTAでは、1年次委員、研修委員長、副会長、会長を歴任し、PTA規約の改定を行い、PTA組織の活性化を図った。朝の挨拶運動、PTA広報誌の発行、学校行事でのPTAとしての関わり方を模索し、学校行事の中でPTAの役割を確立し、新しいPTA活動の在り方に、前例にとらわれず果敢にチャレンジする姿は、生徒、教職員ともに大いに励まされた。また、学校の広報活動のために必要な経費を検討して、予算執行を行い学校の広報活動にも協力し、大変多忙な中においても、学校PTA会長と地区会長を兼任し、学校PTAと地区PTAの活動の充実に尽力した。その功績から令和元年には、福岡県PTA会長に就任され、6月に開催された第63回九州地区高等学校PTA連合会大会「福岡バリよかつ大会」(福岡国際会議場)を大成功させるなど九州PTA活動の充実に多大なる功績がある方である。
		中島 克美	元会長	
74	福岡県	なかしま まさかつ	福岡県公立高等学校PTA連合会	平成22年以降、長きにわたって嘉穂総合高等学校のPTA会長や副会長などの要職を歴任され、本校PTA活動の中心としてご尽力をいただいた。PTA活動への貢献は、本校のみならず、筑豊地区高等学校PTA連合会や福岡県公立高等学校PTA連合会においても要職を歴任されている。さらに、地域のPTA活動にも積極的に取り組まれ、幼稚園・小学校・中学校においてもPTA会長を務め、PTA活動に対する貢献は多大なものがある。
		中島 正勝	元副会長	
75	福岡県	さわき はつお	福岡県立ひびき高等学校保護者教師会	平成26年度から5年2ヶ月の長期にわたり、本校保護者教師会の会長として会員相互の連携や学校と家庭・地域との相互理解の促進に尽力するなど、保護者教師会活動の活性化を図り、会員の意識向上に貢献した。また、保護者教師会活動に対して常に高い関心と熱意を持ち、平成28年度と平成29年度には福岡県高等学校PTA連合会評議員として、本校のみならず、県下のPTA活動の発展における多大な功績は顕著である。
		沢木 初雄	元会長	
76	福岡県	おさ みえ	福岡県立折尾高等学校PTA	平成25年度から平成31年度までの6年に亘り本校PTA会長としてPTA活動の活性化を図り、会員の意識向上に貢献してきた。また、平成31年度に顧問に就任し、2年に亘り引き続きPTA活動を支援してきたところである。PTA活動に対して常に高い関心と熱意を持ち、県内外における大会や会議に積極的に参加するなど、情報の収集や人間関係の構築にも努めてきた。平成25年度及び平成29年度には北九州地区高等学校PTA連合会指導者研修会において実践発表を行い、令和元年度に開催された九州地区高等学校PTA連合会福岡大会において会議運営委員を務めるなど、学校外においても精力的に活動を行ってきたところである。
		長 三恵	元会長	
77	福岡県	まつもと とよか	福岡県立水産高等学校PTA	会長として持ち前の明るさと強力な発信力により、本校の魅力を積極的にPRされたが、そこには生徒たち一人一人に対する強い愛情と本校に対する愛校心があふれていた。特に、PTA活動に対する会員、役員 の意識を変えるために、毎回楽しそうに明るく本音で語る事ができるPTA活動を心がけられた。これにより保護者等の意識の変化が見られ、子どもたちも健やかに成長して学校生活を送るようになった。その功績は、本校にとっても生徒たちにとっても大変大きいものである。
		松本 豊香	元会長	
78	佐賀県	はなだ ゆういち	佐賀県立致遠館中学校・高等学校後援会	会長・副会長として、生徒や会員のために、教育環境を向上するように、様々な取組を行った。本校は、中高一貫校で会員数も多く、生徒も様々な年代がいる中で、会員である保護者のニーズも多岐に渡る状況であるが、会員との対話を大事に、様々な要望に対して行動して、実現した。また、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、緊急事態であっても、後援会組織が円滑に運営できるよう会則の改正を行うなど、危機管理の観点からも、本校PTA組織である後援会活動の発展への貢献は多大である。また、九州地区高等学校PTA連合会大会佐賀大会の実行副委員長として、運営や準備に積極的に関与し、佐賀県高P連での貢献度も大きい。
		花田 勇一	会長	
79	佐賀県	のなか のぶあき	佐賀北高等学校後援会	本校後援会会長及び副会長として、後援会総会の開催、大学視察研修、校外の清掃活動、合格祈願祭、2回の広報紙の発行を大きな柱として活動した。これらの事業を通して、保護者と学校の良好な関係を築き、生徒の健全育成、地域の教育環境の改善をしたり、地域との連携に力を入れ、各種行事を通して地域からも信頼される学校づくりをしたりと貢献度が大きい。佐賀県高等学校PTA連合会の副会長も2年間務めた。その間、会長を直接補佐する立場の副会長として、佐賀県高P連の総会や役員会の企画・運営はもとより、青少年の健全育成、交通対策などの県内会議にも積極的に出席し、保護者の代表として貴重な意見を述べてきた。また、今年6月に開催する九州地区高等学校PTA連合会大会佐賀大会の準備スケジュールの検討にも積極的に関わり、会長や事務局に対して適切な助言を行ってきた。現在、その計画に則り順調に準備が進んでおり、佐賀県高P連での貢献度も大きい。
		野中 宣明	前会長	

80	長崎県	こやなぎ よしのり	長崎県公立高等学校PTA連合会	長崎県公立高等学校PTA連合会においては、平成30年度から令和3年度に県連会長を、九州地区高等学校PTA連合会においては、令和2年度に副会長、令和3年度に会長を、全国高等学校PTA連合会においては、令和3年度に理事を務めた。特に、令和4年6月に開催した第66回九州地区高等学校PTA連合会大会長崎大会では、九高P連大会会長として会員をまとめ、コロナ禍にあっても創意工夫しながら見事に大会を成功させるなど、その功績は大きい。また、前述のように外部の委員も数多く務め、県内PTA活動の充実・発展に貢献した。
		小柳 義則	前会長	
81	長崎県	いしもと じんたろう	長崎県公立高等学校PTA連合会	長崎県公立高等学校PTA連合会においては、平成29年度に会長、九州地区高等学校PTA連合会においては、平成29年度に進路対策委員長、全国高等学校PTA連合会においては、平成29年度進路対策委員を務めた。県内のみならず、九州、全国のPTA活動に貢献した。前述のように外部の委員も数多く務め、県内PTA活動の充実・発展に務めた。県における今後の円滑な事務局・連合会の運営を目指し、課題解決の方向性を示すなど、精力的に活動した。
		石本 仁太郎	元会長	
82	熊本県	なつき よしひろ	熊本県公立高等学校PTA連合会	単P会長や熊本市PTA協議会役員、さらには熊本県公立学校PTA連合会(高P連)役員として生徒の健全育成に取り組んだ。特に高P連では4年にわたり県連会長を務め、単位PTA、各地区連絡協議会の活動を支援し、PTAの活性化や課題解決に尽力した。特に令和2年度から学校の空調設備について教育委員会等と協議を重ね、県費移行を実現した。義務教育や私立高校との連携・接続にも熱心であり、情報共有に取り組んだ。また、令和4年度には九州高等学校PTA連合会副会長を務め、九高P連の連帯と振興に尽力した。
		夏木 良博	会長	
83	大分県	わだ しゅんじ	大分県高等学校PTA連合会	20年以上の長きにわたって大分県のPTA活動に積極的に参画するのみならず、常に問題意識を持って活動の改善に取り組んできた。大分県高等学校PTA連合会会長としてはコロナ禍に対応した活動のICT化や、PTA非加入の動きに対して特別委員会を設置し対応を行うなど、常に先進的なビジョンを持ちたぐいまれな指導力を発揮している。現在は令和8年度に大分県で開催予定の全国高等学校PTA連合会大会を見据え、その準備体制の整備に取り組むとともに、大会において新しいPTA活動として「大分モデル」を示すことができるよう意欲的に新規分野にも目を向けている。
		和田 俊二	会長	
84	宮崎県	くろだ まさし	宮崎県高等学校PTA連合会	宮崎県高等学校PTA連合会会長として、22,500名(令和元年当時)の会員の先頭に立ち、高等学校教育の振興と子どもたちの健やかな成長、進路実現のため、県や他団体とも積極的に関わり、連携協力を深め、会員研修、PTA活動の充実発展に取り組んだ。また、九州地区高等学校PTA連合会大会宮崎大会の開催準備に尽力する中、コロナウイルスが感染拡大し、開催するか中止にするかの難しい判断をせまられ、県内会員の積み重ねた開催準備の努力や、事例発表にむけた各県事例発表者の努力が無駄にならないよう、「紙面開催」という形で会員研修に繋がられるよう取り組んだ。九州地区高等学校PTA連合会会長、全国高等学校PTA連合会理事としても活動し、PTA活動の発展と会員の意識向上に貢献したその功績は大きい。
		黒田 仁志	前会長	
85	鹿児島県	かわはら しんいち	鹿児島県PTA連合会	長年にわたり単位PTA会長を務め、組織の改善や会員の資質向上、学校の教育環境の改善に務めた。自身の所属する単位PTAの活動と併せて、阿久根市PTA連絡協議会会長や鹿児島県PTA連合会副会長及び会長を現在まで務め、阿久根市全域や鹿児島県全体のPTA活動の振興に大きく貢献した。
		川原 慎一	元会長	
86	鹿児島県	ばば ひろゆき	鹿児島県立加治木工業高等学校PTA	平成22年3月、3町が合併し、現在の始良市になったことに伴い、同年6月に3町P連が対等合併し、始良市PTA連絡協議会が発足された。しかしながら、順風満帆な船出とは行かず、様々な課題を一つずつクリアにしていく状態が進んでいる中で、同様に合併し順調な形で事業を行っていた始良市おやじの会連合会会長を務めていた馬場氏に、市P連の旗振り役を担っていただくことになった。そこで、親睦会やスポーツ交流会を企画運営し、市P連会員の連携および活動の活性化を行い、現在の市P連の組織や活動の根幹を作っていただいた。また、現在も単位PTAや県・市P連の役を担い、最前線で活動していただく姿は他の会員の模範となっている。
		馬場 広幸	会長	
87	沖縄県	みやざと けん	沖縄県高等学校PTA連合会	小学校から通算して12年余り、PTA役員として主な役目を担い会員相互の資質向上に努めPTA活動の充実と発展に尽力してきた功績は大きい。高等学校PTA活動に於いては、県連執行部役員として4年間、社会教育・家庭教育並びに高等学校教育の振興を図り次代を担う子どもたちの健全育成に努めることを目的とし活動を行ってきた功績は、会員の模範となる存在である。
		宮里 憲	元会長	
88	全国高等学校PTA連合会	いずみ みつる	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	感染症の影響を受け、今まで出来たことが出来なくなってしまったこの期間においても、全国高P連の代表として全国高P連の活動を止めることなく、調査広報、進路に関する調査、情報の発信等を行うとともに、会議や全国大会等の催し物への新たな手法を模索・実施し、会の発展に寄与した。また、文部科学省「大学入学者選抜協議会」委員として、全高P連や高校生の親の代表として大学入試等の意見を述べるなど、子供たちの健全な成長・育成に貢献した。
		泉 満	前会長	